

建設工業新聞

平成 27 年 9 月 9 日 (水) 4 面に掲載

県産材や省エネをアピール

環境・エネルギーに関する技術 建設技術フェア



のぼりでPRする環境・エネルギーのコーナー

「環境パイル工法」を出版。木杭は防蟻防蟻加工を施し、液状化対策にも効果を発揮。ブースには実物の木杭を展示したほか、ビデオ

で施工動画を流して来場者にPRした。マルツ電波は、再生可能エネルギー分野での事業実績を紹介。木質バイオマスエネルギー事業「あわら三國もりもりバイオマスPJ」では、あわら温泉の旅館に木質チップボイラを設置し、熱源をシャワーなどの給湯に利用。また薪ストーブやペレットストーブ計6基を旅館に設置するなど、地域ぐるみで同エネルギーの普及に取

り組んでいる。明光建商は、主力の省エネ屋根塗装「シポフェース」をはじめ、世界初、プラスチック樹脂のヒートポンプ循環冷暖房システム「クール暖」をアピール。クール暖はプラスチック樹脂のパイプに冷水や温水を循環させ、部屋のふく射熱を利用する冷暖房システム。空気を媒介しないため、無風・無音・無臭で、家中どこでも同じ快適さを保つ。

SP電機は、自社独自開発の太陽光発電システム「おっかけSUN」を出品。ソーラーパネルが太陽光の動く方向に回転し、わずかな日照でも効率よく発電。集光効率100%、発電量は従来の固定型に比べ1.5倍にも及ぶとした。

このほか、福井県管工事設備工業協会は省エネ型散水融雪、福井県建築設計監理協会は設計・監理作品、福井県木材組合連合会は県産材の普及促進に向けた各種制度などをそれぞれ紹介していた。

フクイ建設技術フェア(2、3日 福井県産業会館)では、環境・エネルギーに関する最新技術も多数展示された。

「HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)」の紹介とともに、最新の照明スイッチなどを展示。女子高生らがタッチ式の調光スイッチをスマホ感覚で操作していた。

福井県電業協会は、「HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)」の紹介とともに、最新の照明スイッチなどを展示。女子高生らがタッチ式の調光スイッチをスマホ感覚で操作していた。

福井県電業協会は、「HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)」の紹介とともに、最新の照明スイッチなどを展示。女子高生らがタッチ式の調光スイッチをスマホ感覚で操作していた。



最新機器にはしゃぐ女子高生ら

「イカリット」を推薦。薄膜で美観・意匠性・施工性に優れる一方、火災時には20〜50倍に発泡して断熱層を形成。国内主要施設での施工実績とあわせて紹介した。